

会 議 名	第3回港区いちよう学級事業運営業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年1月16日（月曜日）午後6時から午後7時15分まで
開 催 場 所	港区役所9階 研修室
委 員	（出席者）山田委員長、湯川副委員長、川上委員、島田委員 （欠席者）渋谷委員
事 務 局	保健福祉支援部障害者福祉課
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について 5 その他 6 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表（1事業者分） 資料3 第二次審査における共通質問事項趣旨 資料4 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配付） 資料5 第2回選考委員会会議録 参考資料1 第一次審査集計結果 参考資料2 事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（案）
会議の結果及び主要な意見（次ページ以降）	

<p>(発言者)</p> <p>委員長</p>	<p>1 開会</p> <p>【A委員欠席に伴う採点の取扱いについて】</p> <p>A委員の欠席に伴う本日の第二次審査の採点の取扱いについて、協議させていただきます。</p> <p>採点の取扱いにつきましては、出席委員4名の点数をそれぞれ「1.25倍」として、満点は変わらず500点で採点できればと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p>
<p>委員長</p>	<p>ご異議ございませんので、A委員の欠席に伴う第二次審査の採点の取扱いにつきましては、出席委員4名のそれぞれの点数を「1.25倍」とすることといたします。</p>
	<p>2 第二次審査実施概要について</p> <p>(事務局から説明)</p> <p>3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施</p> <p>(A事業者のプレゼンテーション)</p> <p>(A事業者の質疑応答)</p>
<p>D委員</p>	<p>現在受託事業者として、いちよう学級の事業に取り組まれています、新たに受託されたときに、いわゆる前例踏襲、マンネリ化ではなく、現状の事業を進めながら、新たな取組や工夫についてお考えがあれば、お聞かせいただければと思います。</p>
<p>A事業者</p>	<p>当法人では、例えば、プールの指導をしていたり、ホテルで働く、人を育てる学校があったり、語学事業を展開していたりと様々な分野で事業を展開しております。そうした事業を生かして、例えば、語学事業の英語の先生を講師として招いて、英語の体験プログラムを実施し、異文化体験に触れるといった内容や、ホテルについては、食事を通して、食事のマナーを学ぶプログラムなど、今まで実施していないような新しいプログラム、そして、受講者の方が興味を持って、何かに取り組んだり、新しい気づきが得られたりするようなものを提案していこうと考えております。</p>
<p>D委員</p>	<p>あと2点ほど質問させていただきます。</p> <p>この事業は、受講者や保護者の方からとても高いニーズのある事業だと思います。事業展開をしていく上で、受講者やその保護者の方からの意見や意向を聞いたり反映することがあるといいかなと思いますが、そうした取組についてお考えがあればお聞かせください。</p>
<p>A事業者</p>	<p>これから取り組んでいけたらと考えていることは、まずは受講者の方、それから保護者の方と細やかにコミュニケーションをとって、直接意見や要望を吸い上げていくということが大きくあります。</p> <p>そのほかに関しては、定期的にアンケートを皆さんにお願いをして、いちよう学級に望んでいることや興味のあるプログラムといった意見だけではなく、関わり方など、色々な意見を取り入れていけたらと思っております。</p>

D委員	最後に、個人情報の取扱いについてですが、現実問題として、外出活動や宿泊活動などがある場合、個人情報として利用者の電話番号やそれから健康に関する資料を持ち出すことになるかと思いますが、その点はどのようにお考えでしょうか。
A事業者	個人情報を必要以上に持ち出すことはしないようにいたしますが、おっしゃるとおりどうしても外出等で持ち出さなくてはいけない情報がある場合には、まずは持ち出す情報を必要最低限にすることと、必ず情報を所持する者、閲覧できる者を限定して、不特定多数の者の目に止まらないように管理をすることを徹底します。
C委員	私からもいくつか質問をさせていただきます。 提案書の中では、具体的に記されていませんでしたが、どういった事業を展開していくかについて、お考えがあったら聞かせていただきたいです。 また、新しいプログラム案を提案されていますが、どの程度取り入れていくつもりであるか、お考えをお聞かせいただきたいと思っています。
A事業者	今行っているプログラムの中で、例えばレクリエーションや書道などの流れのプログラムや、特に人気のあるプログラムについては残しつつ取り組んでいきたいと思っています。その中でも、レクリエーションではこれまでと違った内容を行ったり、外出では行き先を変えたりと、長く参加されている受講者の方たちにとっても、こういうところに行ってみたい、こんなことをしてみたいといったご要望があるかと思っていますので、大きな流れは変えないながらも、そうした意見を取り入れていけたらと思っています。
C委員	新しいプログラム案として挙げられているスキー教室など、とても楽しそうなプログラムだと思いますが、こうしたプログラムも受講者の方と調整がつけば実施するということでしょうか。
A事業者	過去のいちよう学級の活動でスキーをやられていたことを私たちも知っており、今はコロナ禍で色々できなくなっていますが、港区の方とも調整をしながら、宿泊のプログラムでスポーツを体験できる、雪の世界での時間を体験できるようなことも、私たちのほかの事業でも行っていることをうまく生かしながらできたらと思っています。
C委員	支援者の確保に関して、仕様書で求めている数よりも多く配置すると提案されていますが、コロナ禍で直接接すること自体もなかなか難しい中で、支援者の具体的な確保策について、何か考えがあれば教えていただきたいです。
A事業者	私たちは通常の業務の中で、学生が中心のボランティアと一緒にキャンプなど、色々なプログラムを展開しておりますので、ボランティアの母数、定期的に参加をしている人数がかなり多くいます。 コロナで参加を控えたいというボランティアもいますが、それでもかなり多くの人員

	<p>は確保できるということと、学生を卒業し、社会人になったボランティアをいちよう学級のボランティアとして中心に配置をしていきたいと思っております。母数が多いため、学生を卒業した社会人のボランティアもどんどん増えていくということになります。</p>
C委員	<p>母数はどの程度ですか。</p>
A事業者	<p>私たちが行っているプログラムに定期的に参加をしている人数は30人程度はおります。それに加えて、学生を卒業していく人が20人と、徐々に増えていくこととなります。</p>
C委員	<p>看護師の確保は難しい状況にあると思いますが、長い歴史を通して、看護師を多く配置できるつながりや関係性などはあるのでしょうか。</p>
A事業者	<p>ボランティアの中にも看護学校を卒業して今現役で看護師を勤めている人も複数名おまして、その方たちも私たちのプログラムと一緒に同行して看護師としての役割を担っていただいているということもありますので、そういったつながりから長期的に看護師を配置できると思っております。</p>
C委員	<p>現在いちよう学級では、AグループとBグループと2つのグループに分けて事業展開をしていますが、その2つのグループをうまく対応していく方策、具体的な取組があったら教えていただけますか。</p>
A事業者	<p>現在いちよう学級は年齢で区分をし、Aグループ・Bグループと分けて行っていると思います。やはり、年齢によって経験値も違く、興味やペース、体力なども異なってくるかと思っておりますので、そこに合わせてより細かい配置ができるように、例えば、AグループよりもBグループのほうが移動時間を少し長くにとってゆっくり移動できるようにするなどといった対応をしていくことを考えています。また、年齢が上がりAグループからBグループにグループを変えて参加をするようになる方もいらっしゃるかと思いますが、同じパターンだったり、同じ仲間に安心をする方が多いかと思っておりますので、そうしたことにしても配慮しながら、必ずしもすぐにBグループに来年から行きなさいというようなことではなくて、受講者の方の気持ちにも寄り添いながら、お話を伺いながら対応ができればと考えております。</p>
B委員	<p>新規支援者の開拓ということは非常に重要かと思いますが、先ほど、学生のボランティアに関してお話をいただきました。事業に興味を持った学生が来たときに対応できるような指導のプログラムなどはあるのでしょうか。</p>
A事業者	<p>研修などということでもよろしいでしょうか。</p>
B委員	<p>そうですね。</p>

A事業者	<p>私たちが行っている通常のプログラムにおいて、障害のある方たちと関わる活動も行っており、定期的に障害への理解や関わり方についての研修も自主事業として行っておりますので、初めて参加されるという方に対しても説明やオリエンテーションを行うことは可能です。</p>
B委員	<p>いちよう学級に参加する支援者の方については、事前にある程度知識を持って、関わっていただけたらと思ってよろしいでしょうか。</p>
A事業者	<p>はい。</p>
B委員	<p>いちよう学級は知的障害のある方が対象ですが、先々医療的ケアや食事面における形態食の対応、また、車椅子や補装具を利用されている方が参加された際の対応も考えられます。</p> <p>特に医療的ケアに関して、外出活動や宿泊行事を計画される中で、具体的な対策などはありますか。</p>
A事業者	<p>まずいちよう学級への参加対象者として、会場まで一人で通える方が前提となっているかと思しますので、そこに関してもし変えていくようなことであれば、区の方と相談をしながら対応していくということになります。できるだけ多くの人たちにご参加をしてもらえたらと思いますので、具体的な部分に関しては、ご希望があったときに状況をお伺いして、区の方とも相談をしながら進めていけたらと思っております。</p>
B委員	<p>基本理念に関する回答で、障害特性に応じた長期的支援、見通しを持った継続的な取組についての記載があり、知的障害の方を理解されていると感じています。</p> <p>いちよう学級に繰り返し参加されている方やなじみのある方は見通しがありますが、新規に参加される方への対応は何かありますか。</p>
A事業者	<p>初めて参加される方については、環境も人も初めてで、緊張されている方が多いかと思しますので、そういった場合には、全体での体制の安全を整えること、そして、個別の対応、例えば全体での説明でうまく伝わらなかった部分や理解ができなかった部分をフォローしたり、今後の流れなどを細やかに伝えが可能な体制をとっていけるようにいたします。</p>
B委員	<p>最後の質問です。</p> <p>いちよう学級の理念として社会参加、適応力を高める、仲間づくりの場、人間形成向上の場とされていることを踏まえると、先ほどの話の一对一ではなく、横のつながりを意識しない取組が出てくると思います。そのことを踏まえて、今までの取組、新しい取組の提案があればお聞かせいただきたいと思います。</p>
A事業者	<p>横のつながりということに関しては、受講者の方同士の橋渡し、実は同じことに興味を持っていたんだというような橋渡しを、支援者の方々と私たち職員と一緒に</p>

	て、受講者同士をつなげるというような関わりができればと思っております。
B委員	ゲーム要素や研究などのプログラムを増やすといった具体的な取組は考えていますか。
A事業者	<p>例えばですが、調理のプログラムでお互いに協力をして作っていく中で、この人はこれが得意だったんだ、この人はこれが苦手だからフォローしようといったことを支援者と一緒になってつくってあげればと思います。</p> <p>いつも同じ仲間とグルーピングをしていき、月1回、月2回と一緒に過ごすことで、お互いの認識が日々高まっていくということも大切にしていきたいと思っています。参加者の相性なども気にしながらグループ分けをしていきたいと思っています。</p>
E委員	<p>企画提案書の様式9でコロナ禍における本事業の進め方、事業継続の工夫について、提案を求めましたが、記載内容としては感染症対策をしっかり行うといったことですが、コロナ禍になってもう4年目になる中で、障害者に限らずですが、やはり1年1年の重みはあり、特に社会参加や自己実現といった基本理念を持たせるためには、継続していくことがとても大事だと思います。</p> <p>今のこのコロナ禍の状況の中で、どのように事業を展開していただけたのかを聞いたかったのですが、その部分でご提案いただけるものがあればお願いします。</p>
A事業者	<p>私たちが行っているプログラムでも、現在感染症の対策を講じながら、宿泊やバスハイクを実施しています。万が一、陽性者が発生した場合の対応について、そもそも発生させないための取組に関するガイドラインを常に活動しながら更新し続けて、それをもとにプログラムを行っています。いちよう学級に関しましても、そうしたことを生かしながらガイドラインをもとに実施をしていけたらと思っております。</p>
E委員	<p>この2年間の中で、その前の年までと比べると相当参加者が減っています。感染症対策をちゃんとやっています。しかし、参加する側としては怖いなど色々な思いがあると思います。そうしたときに、ちゃんとしたものを用意していますから大丈夫ですよというだけではなかなか参加につながらないと思いますので、実際の受講者の皆さんの様子を見て、どのように変えてプログラムを展開していかれるかというところも求められると思いますが、その点についてはいかがでしょうか。</p>
A事業者	<p>やはりどうしてもマスクをつけるのが難しくて参加ができなかったり、持病があるから参加を控えているという方も多くいるかと思いますが、実際に活動に来てみんなと関わるということが難しいような場合でも、例えばですが、いちよう学級だよりで今どんなことをしているのかなどを掲載していくことで、直接活動場所には来れなくても関われるような場というのはつくっていけるかなと思います。</p> <p>また、手洗い・うがいの徹底で、ある程度感染が防げるということが私たちの経験の中で分かっていますが、やはり不安な方もまだまだたくさんいらっしゃると思います。</p> <p>今後、ぜひ考えていきたいと思うことは、オンライン等でどういう感染症対策をして</p>

いるのか、こういうことに気をつければ社会参加をしていくことに不安がないということ伝えていくことで、このプログラムは安心だということを保護者の方、受講者の方が理解をしていただけるようなことを今後検討していきたいと思っております。

(A事業者の質疑応答終了。A事業者退出)

#### 4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について

(事務局から集計結果の発表)

委員長

審査に当たり、評価したポイントなど、各委員から順番に講評をお願いします。

B委員

評価したポイントというよりも不安に思ったところをお伝えさせてください。事業の拡張性であったり、それから今後の変化への対応が少しどうかなというところがあり、提案の発展性の評価が低くなりました。反対に、提案の実現性については、やれることを提案されたということ踏まえて、評価いたしました。

C委員

業務趣旨の理解については、現行事業者ということもあり、受講者のことをよく知って、寄り添う姿勢ということが感じられたので、評価させていただきました。また、提案の実現性についても、ある程度評価させていただきました。それ以外の提案については、飛び抜けて良いというよりは、現行事業者だから安定しているということで、平均点をつけました。

質疑応答の最後のE委員の質問におけるコロナの改善という部分では、どの事業者でも難しい取組だとおもいますが、もう少し踏み込んで提案がほしいと思いました。

E委員

質疑応答の最後に質問させていただいた部分にもつながりますが、新しいプログラムを含め提案をされていましたが、どういった考えのもとにどういう提案がされているかという理念と結びついてないということと、具体性がないと感じ、心配な部分があったあまり高い得点にはなりませんでした。

提案の実現性についてもほかの委員の皆さんよりも低い評価ですが、それは先ほど、B委員がおっしゃったように、今行っていること、自分たちができること、固いことを提案されたと思いますが、具体的な部分が提案されていないという部分で評価が低かったです。

提案の発展性についても、コロナ禍でどう取り組んでいくかは、もっとコロナ禍だからこそできる個別の対応などの提案があってもよかったのかなと思います。やはり1年を無駄にすることはとても大きな損失になるので、事業候補者に決まった場合についても、意見としてぜひ伝えてもらいたいと思います。

また、「自己実現」という言葉が使われていましたが、事業の対象者である知的障害の方に、何をもちて自己実現とするのかということを含めて、ぜひ考えながらより良い形のプログラムにしていてもらいたいと期待をしております。

現行事業者でもありますので、全体的に安定性はあるのかなと思います、評価をさせていただきました。

D委員	<p>グループ分けの問題やプログラムの発展性についてなど、結構問題意識をして考えているのではないかと思いましたが、なかなかうまく表現できていなかったかなと感じました。もし事業候補者として決まったときには、区から相談だったり、委員の皆さんからの意見を含めて、今後のプログラムの展開やコロナ禍の対応など、よりよいものができるようにアドバイスしていただければと思っています。</p> <p>現行事業者ということで、安定性という部分がありますが、前例踏襲ではなく、もう少し発展性のある提案があったらよかったですと思いました。グループの区分けについて、年齢別だけで本当にいいのかどうかなど、具体的な部分は相談をしてうまく取組ができるようにしてもらえればいいかなと思っています。</p>
委員長	<p>そのほかに意見等がありますか。 &lt;意見等なし&gt;</p>
委員長	<p>採点の変更を希望される方はいらっしゃいますか。 &lt;採点変更希望者なし&gt;</p>
委員長	<p>それでは、審査結果や各委員の皆様からのご意見から総括し、当委員会としては、A事業者を事業候補者として選考することとしますが、よろしいでしょうか。 &lt;異議なし&gt;</p>
委員長	<p>ご異議ございませんので、A事業者を事業候補者として選考いたします。</p>
	<p><b>5 その他</b> (事務局から事務連絡)</p>
委員長	<p><b>6 閉会</b> 以上をもちまして、第3回港区いちよう学級事業運営業務委託事業候補者選考委員会を閉会いたします。</p>